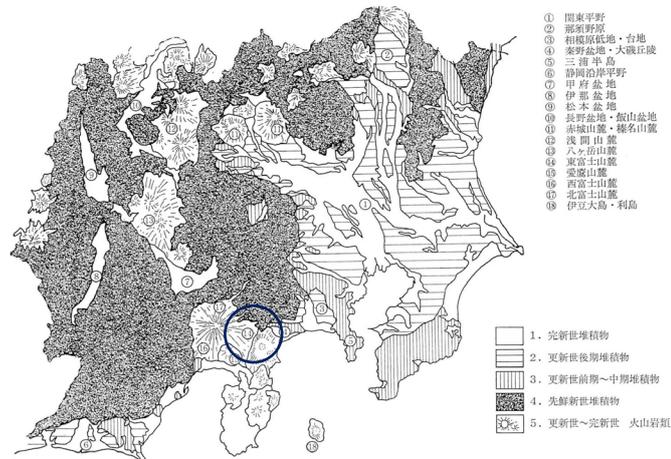


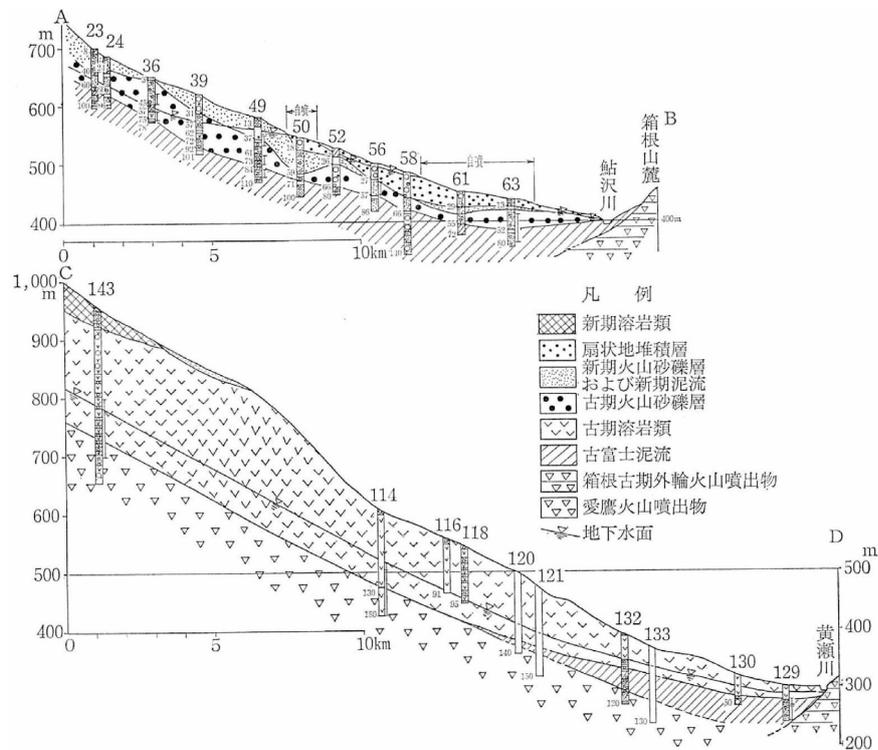
14.東富士山麓（富士東麓）

3.関東地方



地形・地質

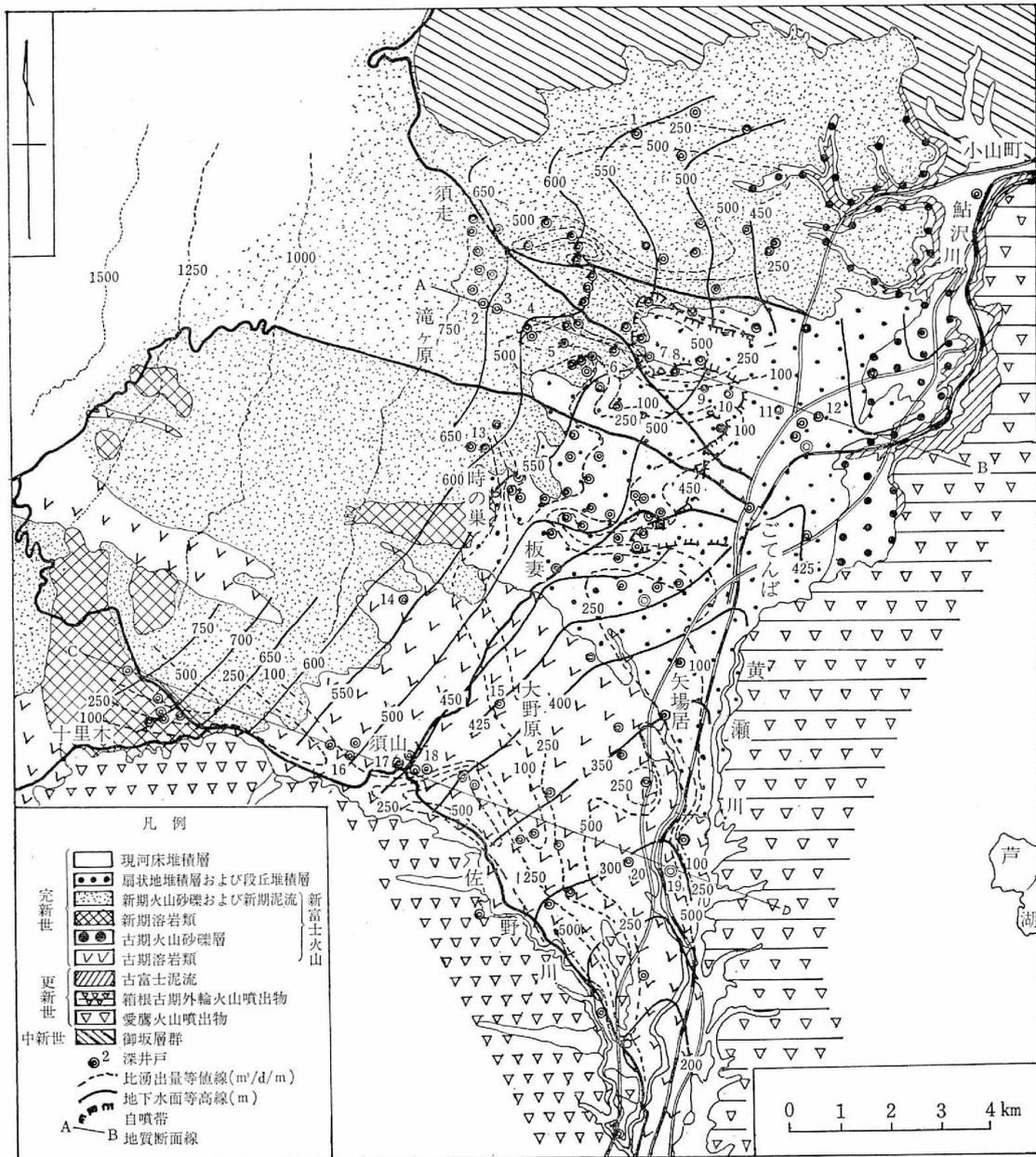
東富士山麓は面積約 300km² の地域で、東に開けた扇形をしています。基盤岩類を不整合に覆って古富士泥流が広く分布し、その上に北部地域では古期火山砂礫層・新期泥流・新期火山砂礫層が順次重なり、南部地域では古期溶岩類が広大な分布をみせ、新期火山砂礫層が薄く覆っています。



地質断面図

地下水

湧水は古富士泥流を不透水層とし、古期火山砂礫層の中を流動した地下水が地形変曲点で湧水となる場合、湧出量が多くなります。地下水は古期火山砂礫層および古期溶岩類中の地下水が、この地域における最も有力な地下水です。



東富士山麓の水文地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）